

## 前期課程

### 四月からは六年生

五年B組 伊藤 知紘

ぼくは、五年生になって前より大きな声で発表できるようになりました。



きっかけは、十月の野外活動で火をとす係に選ばれたからです。その練習の時に声が小さいと言われ、悔しくて悲しいような恥ずかしいような思いをしました。なので、家でも学校でも練習して、後悔のない野外活動にしようと思えました。

その結果、本番で思っていたよりも大きい声を出して、ろうそくに火をとすことができました。それから、職員室に入るときも大きな声であいさつができるようになり、とてもうれしかったのです。しかし、ぼくにはまだ苦手なことがたくさんあります。六年生になってからも苦手なことを減らします。そして、下級生の手本になる

ような立派な六年生になれるよう頑張りたいと思います。

### 六年生でがんばりたいこと

五年A組 重水 遥翔

ぼくが六年生になったら、算数の勉強をがんばりたいです。

今までは、分からない問題ばかりだったので、六年生では、このようなことになりたくありません。そのために、努力することを三つ考えました。一つ目は「復習」です。分からないまま次の単元に進むのではなく、きちんと理解して次の単元に進みたいです。二つ目は「自主学习」です。六年生での自主学习は、算数の内容を中心に取り組みたいです。三つ目は「分からない問題は先生に聞きに行く」です。分からないままほうっておくと、自分のためにならないので、どんどん先生に聞きに行こうと思っています。

この三つの努力を意識して、勉強をがんばりたいです。



### 六年生でがんばりたいこと

五年A組 立松 希絆

わたしは、六年生になったらがんばりたいことが二つあります。

それは、体育祭と算数の勉強です。五年生の体育祭の代表リレーでは、負けてしまい、とてもくやしかったです。六年生では、たくさん走る練習をして、自分のチームが一位になるように努力したいと思います。

算数の勉強では、今までわたしは、分からない問題があると、すぐにあきらめていました。六年生では、分からない問題があっても、よく考えて、努力することを忘れないようにしたいと思います。

運動も勉強も、努力すること忘れずに過ごせる六年生になりたいです。



### 六年生で出来るようになりたいこと

五年B組 立木 日桜莉



私は六年生になってからも楽しい思い出をたくさん作りたいです。

五年生では、宿題を完璧に出せてなかったのが六年生では毎日宿題を提出できるようにしたいです。五年B組にはいつも心配をかけていたので、これからは周りに迷惑をかけずに、周りに頼らず、自分の力でなんとかしていけるといいなと思います。家での手伝いはお風呂掃除と洗い物を週三回くらいやるだけで、他は何もやっていないので、もう少し家族の役に立てるようにになりたいです。また、早く寝て、健康的な生活ができればいいなと思います。朝ごはんも食べて今までと違うきちんとした健康な生活をしたいです。難しいときは、ちょっとだけ周りの力をかりたいと思います。



# 後期課程

## 卒業式まで

九年A組 岡田 梗太郎

僕は、卒業文集作成委員に立候補しました。



僕は後期課程三年間で色々な行事の代表やリードになることが少なかったのですが、今回挑戦してみました。僕たちはあと少しで卒業します。私立高校受験は二月の最初にあるので、私立高校を受験する仲間達は、受験が近づいてきて、とても緊張していると思います。ぜひ合格して、残りの中学校生活を一緒に楽しく過ごしていければと思います。

しかし、公立高校受験を考えている人達は、まだまだ気が緩められません。公立高校の受験は卒業式が終わった後にあります。最後の最後まで頑張っていきたいと思えます。

卒業式は、楽しみもありますが、同時に心配や寂しさもあります。

楽しみとは、高校へ進学していく楽しみです。飛鳥学園は、義務教育学校なので、前期課程と後期課程の景色はあまり変化がなかったけれど、高校生活ではいったいどんな環境がまっているのかとてもわくわくしています。けれども、今の友達と離れてしまうのはとても寂しいです。高校では飛鳥学園の生徒がいなくてもいいという心が心配です。

卒業まで、残りわずかとなってしまった飛鳥学園と離れるのは寂しいけれど、残りの数ヶ月、入試が終わるまで、勉強に集中していきたいと思えます。後期課程生活三年間は長いようでとても短かったように思います。今思うと一瞬で九年生になりました。残りわずかな学園生活、悔いの無いように学園生活を送り、卒業していきたいと思えます。

## 春がはじまるまで

九年B組 鈴木 優子

「おはよう」

この言葉をクラスのみんなと交わすのも、あとわずかになりました。他愛のない会話も、今は受験の話で持ちきりです。「高校はど

こを目指しているの？」と、そんな話をしていると、改めて飛鳥学園を卒業するのだと、みんなと別れなのだ実感します。卒業を間近に控えて、私は沢山の変化に、気持ち振り回されました。



まず、受験に対する不安です。合否はもちろん、落ちたらその後は？合格しても新しい学校や友達に馴染めるのか？勉強はついていけるのか？そんな気持ちに襲われます。次に、私生活についてです。塾や家で勉強する時間が長くなり、日付が変わる頃に寝ることが多くなりました。他にも受験に対するストレスからか、あまりご飯を食べられないなど、不安定な食生活が続きました。

そして一番は、志望校を親と相談したことでした。私の夢は将来、デザイン関係の仕事に就くことです。高校生のうちに多くの資格を取ることが出来る専門学校を考えていましたが、学習塾に入れてくれた親に対してなんだか申し訳な

い気持ちが出てきて、なかなか言い出すことができませんでした。ただ、私の気持ちを正直に伝えようと、「自分がやりたいことならいいよ」と私を応援してくれて、私は進路をはっきり決定していくことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これから受験が始まり、友達がいなくなったり、離ればなれが変化します。だけど、私たちは友達という糸で繋がっています。それはこの先もずっと同じです。糸が切れないように、そしてもっともつと増えていくように、みんなと過ごす貴重な明日を迎えられるように。私は「さよなら」ではなく、「またね」と交わしたいと思えます。

## 飛鳥学園 3月の行事予定

- 3日(木) 卒業証書授与式
- 9日(水) 学校公開・学年・学級懇談会
- 18日(金) 前期課程 修了証書授与式
- 24日(木) 修了式